

御殿場市の取組み

御殿場市では、御殿場市地域福祉計画を基に、住環境の整備・改善や、道路、交通、公共施設などのバリアフリー化について、すべての人が利用しやすいユニバーサルデザインの考え方もって取り組まれているところです。

また、災害時に被害を受けやすい人、災害時要援護者への救援体制づくりが、地域との連携、協働のもと進められています。こうした取組みや、物理的な障害を取り除く施策、ボランティア活動や福祉教育の推進、認知症サポーター養成講座等の様々な啓発活動により、「誰もが住み慣れた地域で、安心して、いきいき暮らせるまち」を目指して施策が進められています。

昨秋オープン「東山旧岸邸」

御殿場は古くから保養地や避暑地として多くの人々に愛され、著名人の邸宅や別荘も数多く建てられました。昨秋より一般公開が始まった東山旧岸邸もその一つです。

第56・57代内閣総理大臣を務めた岸信介は、昭和45年御殿場市東山に自邸を新築し転居、昭和62年に亡くなるまで東山で暮らしました。この岸邸は、建築家・吉田五十八の晩年の作品です。建物は近代数寄屋建築の手法を使い、柱を少なくした西歐的な大壁で設計されています。また建物の南側には、海外からの賓客を迎えるため小川の流れる美しい和風庭園も造られています。

旧岸邸は、御殿場市により、駐車場から入口までの歩道整備、入口のスロープ設置が行われ、足の不自由な方や車椅子を利用している方の見学も可能です。

旧岸邸の様に、観光施設のバリアフリー化も段々と進んでいます。東田中にある秩父宮記念公園においても園内の

歩道整備が進められ、見学しやすくなっています。足の不自由な方

や車椅子を利用している方で見学をお考えの方は、旧岸邸については電話8310747まで、秩父宮記念公園については電話8215129までお問い合わせください。

これから暖かい季節を迎え、外へ出る機会も増えると思います。これらの施設の周りは桜の名所でもありますので、お花見コースとしてもオススメです。

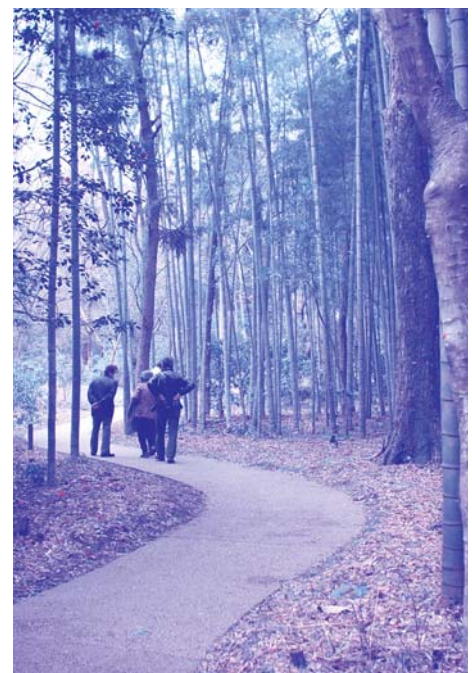
バリアフリーを考える

御殿場市内で車椅子を使用して生活している方よりこんな話がありました。「歩道の段差はまだ多く、歩道上に物があって通れないこともある。」

バリアフリーへの取組みは進んでいますが、実際にバリアを感じている人の視点に立つと、まだまだ不便を感じる人が多いとのこと。行政の行う施策だけではなく、住民の皆様一人ひとりが、それぞれの立場や視点で「いきいき暮らせるまち」について考えること。また、そういった環境を自分たちでつくっていくという気持ちで、障害・障壁を取り除く「バリアフリー」を進める原動力となるのではないのでしょうか。



徒歩では通行可能、車椅子では？



旧岸邸入口まで歩道が整備されています

平成21年度広報委員会

平成21年度の社協だより

「ひだまり」の取材・編集にご協力をいただきました。

お忙しいなかご協力をいただきありがとうございます。

- 勝俣 明(東山)
- 小宮山由江(深沢)
- 末次 敏明(東田中)
- 齋藤 哲也(川島田)
- 勝又とみ子(神山)
- 東條 弘光(新橋)
- 山本 豊(東山)
- 勝又眞味子(中畑)
- 佐藤 雅美(川島田)

順不同 敬称略